

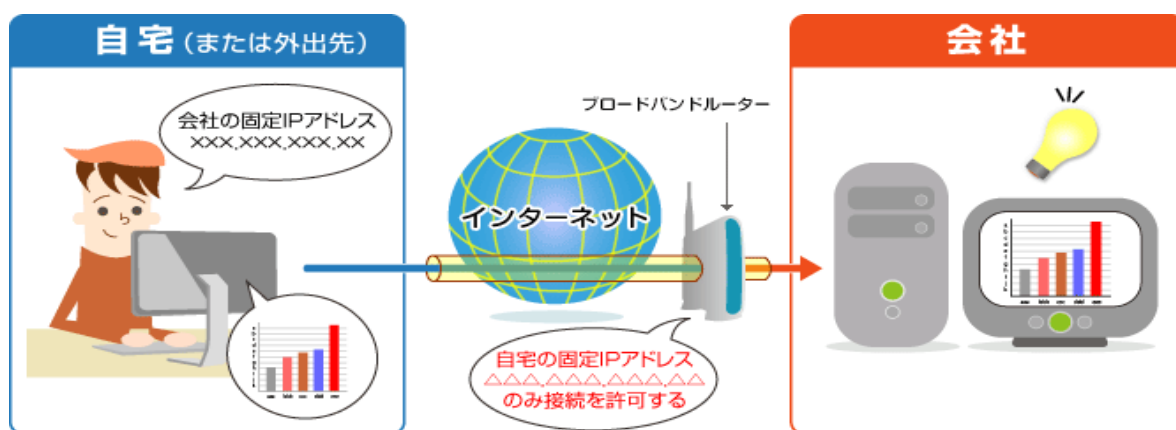
報道関係各位

2010年12月17日

～クリスマスイブは“ノー出勤”で～ インターリンク、「ノー出勤デー」実施を推奨

15周年を迎えたインターネットプロバイダー、株式会社インターリンク(東京都豊島区、代表取締役:横山正、以下インターリンク)は、「ノー出勤デー」実施の推奨を2010年12月17日より開始します。

インターリンクが推奨する「ノー出勤デー」とは、“自宅や外出先からインターネットでアクセスして、勤務先にある自分のパソコンで通常勤務を行う(在宅勤務)”ことです。日本ヒューレット・パッカード、日本ユニシス、パナソニック等は、既に勤務形態の一つとして「在宅勤務」を認めています。「ノー出勤デー」では企業規模を問わず、安全かつ簡単に「在宅勤務」ができるように、アクセスの際は「リモートデスクトップ」機能に「固定IPアドレス」を設定したアクセス方法を推奨します。



昨年9月、インターリンクはインフルエンザのパンデミックを想定して「ノー出勤デー」を各部署単位で実施。各社員は在宅勤務ながら通常業務と変わらず、自律的に仕事ことができました。社員からは「通勤・帰宅ラッシュのストレスを回避できた」、「朝夕の時間帯にウォーキングやジム通いができた」、「いつもより多めに睡眠が取れた」、「環境が変わることで予想以上に仕事がスムーズに進んだ」、「リフレッシュできた」など、一日を有効に過ごせた感想が大半を占めました。この結果を受けて、「ノー出勤デー」の推奨に至りました。

インターリンクは、本年より毎年12/24を「ノー出勤デー」と定め、全社員28名が在宅あるいは外出先からの勤務となります。クリスマスに「ノー出勤デー」とした理由を、インターリンク代表取締役の横山氏は、「当社も既婚率が低いので、恋愛において大事な日のひとつであるクリスマスに費やす時間を多く取って、前進してほしい。既婚者や子供のいる家庭では、一緒に過ごす幸せな時間を長く取ってほしい。」としている。インターリンクでは、クリスマス以外にも、インフルエンザの流行、荒天、体調不良等で在宅勤務をとる場合は、「ノー出勤デー」を適応するとしています。

「ノー出勤デー」を実施することで様々な効果が考えられますが、第一に“仕事へのモチベーション向上”が挙げられます。大手企業だけでなく、多くの職場で「ノー出勤デー」が実施されることを期待しています。

○ノー出勤デーについて

http://www.interlink.or.jp/no_office_day/index.html

<会社概要>

◆株式会社インターリンク (<http://www.interlink.or.jp/>)

日本のインターネット黎明期である1995年よりサービスを開始した、今年で15年目を迎える老舗ISP。2000年よりドメイン名登録事業を開始、2006年10月日本で8社目のICANN公認レジストラに認定。2009年10月にはGMOを含む7社と日本ドメイン名事業者協会を発足しました。ユーザーにとってより快適なインターネット接続環境を提供すると共に、インターネットを通じた社会貢献活動にも積極的に取り組んでおり、2010年度は「シルバー向け無料iPad教室」を開催中です。

●本リリースに関するお問合せ先● ※リリースに関するお問い合わせ以外のご対応致しかねます。

TEL: 03-5985-1695 E-mail: present@interlin.or.jp 株式会社インターリンク 広報担当